

筑波大学ヒューマンバイオロジー学位プログラムは博士課程教育リーディングプログラムとして 2011 年度より発足した 5 年一貫制の博士課程プログラムです。ヒトが人らしく生きる社会の創造を先導できる国際的トップリーダー養成を目的としこれまでの大学院教育のイメージを超えた革新的で新しい試みが多数行われています。本プログラムの今をお伝えする HBP ニュースレター、プログラムのリアルな姿や履修生たちの様子をお伝えします。

Tsukuba Global Science Week ～Human Biology Symposium～

開催情報の詳細はこちら→ <http://hbp.tsukuba.ac.jp/#!/2012tgsw/>

2012年10月30・31日の2日間、エジンバラ大学(スコットランド)、明治大学、情報通信研究機構(NICT)、理研、ローレンス・バークレー国立研究所(USA)、ボルドー大学(フランス)、ボローニャ大学(イタリア)、など国内外から多数のゲストを筑波大学にお招きし開催された今年のシンポジウム。HBP 学生は講義に出席するとともに、会場セッティング、司会進行タイムキーパー、ランチとレセプションパーティーの主催、写真撮影などシンポジウムの運営に携わりました。



本シンポジウムでは、国内外の大学や研究機関の先生方から、医学、生物学、化学、数学など様々な分野の研究についての講演を聞くことができました。2日間のうち午前中は、Lecture for students in Human Biology として HBP 学生向けの講義が行われ、講師の先生方の研究の背景となる基礎的な知識や先生が歩まれたキャリアパスとその教訓などをご紹介頂きました。続く Human Biology Symposium では、各先生方の研究についての講演が行われました。

HBP 学生が企画する懇親会も開催され、カジュアルに先生方のお話を伺うことができ、著名な先生方が今までにどのような成功や失敗をし、そこから何を学んでこられたのかを率直に聞くことができました。加えて、それぞれの国の文化や生活環境についても伺うことができ、今後の留学先の選定を具体的に考える良い機会となりました。

Ph.D. Program in Human Biology

シンポジウム運営に参加した HBP 履修生のコメント



今回の国際会議で、HBP の学生はシンポジウム運営の一部を行い、ホストの一員として各国からのゲストを迎えるという貴重な経験ができました。来年度の国際研究室ローテーション先となる先生方との初顔合わせということで、大変緊張しましたが、様々な研究領域の方々とコミュニケーションがとれたことが印象的でした。私は微生物、寄生虫、ウイルスといった microorganism に興味があり、

Derrick さんというボルドー第2大学の先生と直接話す機会を頂き、国際研究室ローテーションが楽しみになりました。どの先生方も学生の話をしっかり聞いてアドバイスなどをしてくださり、大変有意義な時間を過ごすことができましたと思います。来年度は後輩も加わり、さらに輪が広がっていくことを期待します。

(写真右から2番目、竹村 彩)

HBP 2年次のカリキュラムとは?

2年次では、

- 国際研究室ローテーション
- 海外企業におけるインターンシップ
- 適正技術
- 起業家精神

写真：菊地琢哉 in 東ティモール



を選択し、海外の研究室、企業、地域社会に出向き、初めての環境に適応する能力の育成と解決すべき問題を抽出する学修を行います。

海外渡航費は大学から支援を受けられます。詳しくは

<http://hbp.tsukuba.ac.jp/#!/support/>



筑波大学
University of Tsukuba

University of Tsukuba
School of Integrative and Global Majors
sigma

Copyright © ヒューマンバイオロジー学位プログラム